NIE実践報告

1．タイトル：新聞記事から地理情報を読み取ろう

2．学校名

大分県立大分豊府中学校

3．実践者名（代表者名）

菅原　健

4．学年

1年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科・４０人

6．単元（本時の学習課題）名

第１編第３章　日本のすがたとさまざまな地域

7．目標(狙い)

新聞記事によって得られる統計や地図における情報を正しく読み取るとともに、その情報がもたらす因果関係を分析したり、表現したりする方法を理解させる。

8．評価の視点

・新聞記事に含まれている統計地図の情報を正しく読み取ることができたか。
・グループ学習を通して、多くの生徒の多面的な分析を理解することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

第１編　世界と日本の地域構成（６時間）　第１章　地球のすがた…２時間・第２章　世界のすがたとさまざまな地域…２時間・第３章　日本のすがたとさまざまな地域…２時間（本時はその２時間目）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

１時間目：ワークシートの配布
新聞記事中における統計地図の情報をワークシートの問いに基づき解答を考え、記入する。
日本地理の分野に入って、最初の授業項目のため、日本の各都道府県単位の地理情報が書かれている資料を準備し、都道府県名と場所等も再確認しながら地理情報を読み取る。
２時間目：グループ討議
１時間目に個人で考えた解答をグループにして意見交換を行う。
各グループの中から優れた答えを大きな紙に書き、班単位で発表を行う。
同じ新聞・記事からでも、生徒によってさまざまな着眼点があり、同じ疑問点に着目しても因果関係の考え方は異なるなど、多様な視点があることを理解する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

日本全国の米の収穫量が場所によって異なることがわかった。・なぜ今年秋田県だけが不作だったのかという疑問が解決できよかった。・新聞記事の内容が難しくても、地図をみていれば理解できた。・みんなの考え方が聞けて役に立った。

12．成果と課題

（成果）　従来の教科書等の教材だけでなく、時事問題的な内容を扱う新聞記事を通して授業をすることによって、生徒は現在自分たちが学習している内容が実際の社会問題に直結していることを理解できたのではないか。
（課題）　今回はNIEセミナーの一環として、新聞記事を用いた社会科の授業を実践させていただいたが、これが一過性のもので終わるのではなく、定期的に新聞記事を扱うことで、生の社会科の学習内容に触れる機会を設け、今回実践した地理情報の読み取りや自分の考えを表現する作業を続けたい。